デーリー東北新聞社提供

デーリー東北
2023年（令和5年）1月22日（日曜日）（15）

未来の中心街、プレゼン

八工大生が最終報告会 空洞化解決へ提言

八戸

八戸工業大は20日、八戸市の「はっち」で、市中心街の課題解決に向けた研究の最終報告会を開いた。土木建築工学科の学生たちは、空き店舗の活用や駐車場対策など6項目について、独自の解決策を提言。空洞化が懸念される街なかの、にぎわい創出や活性化に向けたアイデアを次々と披露した。

同大と市、第三セクター「まちづくり八戸」の3者は2016年度、中心街の課題解決に向けた覚書に調印。学生が実地調査を行い、解決策や活性化策を市に提言している。報告会では、学生が6グループに分かれてアイデアを発表した。

バスの待合環境の整備では、荷物置きやスマートフォンの充電ケーブルを備えたベンチへのデザイン変更を提案。長根公園内へのスケートボードパークの設置、長者まつりんぐ広場内での映画館を備えた複合施設の建設などを、市やまちづくり八戸の担当者にプレゼンテーションした。

十三日町と十六日町の活性化策を提起したグループの外崎太一さん(21)は「今回の研究を機に、まちづくりへの関心も深まった。多くの人に来たいと思ってもらえる街になってほしい」と願った。

学生たちは今後、最終報告書をまとめ、3月に熊谷雄一市長に提出する予定。

（小嶋嘉文）

八戸工業大生が八戸市中心街の課題解決策を提案した報告会

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。